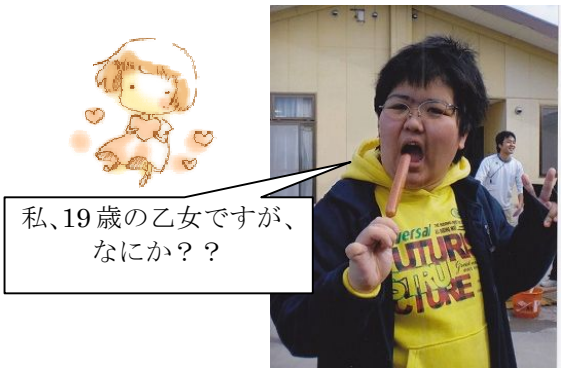
ゆきちゃん通信

No.29
2012 年 2 月 29 日
発行人　tomi

みなさん、お元気ですか？
いつもお正月にお届けしていたゆきちゃん通信ですが、今年は思うところがあって由紀子の誕生日をまって発行することにしました。
早いもので由紀子も 2 月 10 日で 19 才になりました。
　ケーキを前にして、とてもうれしそうな由紀子です。（笑）
その表情はまだまだ幼くて、ついつい子ども扱いをしてしまいがちですが、内面はどんどん大人になっているようです。
今回の通信では、大人を感じさせるようになった由紀子の様子と、ちょっとだけ子離れをした母の心の変化をお伝えしたいと思います。

プールのコーチが同級生？！

由紀子は 4 年前からプールに通っています。
今年から新しいコーチが付いてくださる事になりました。
とても若いコーチだなぁ～と思っていたら、大学一年生だと聞きました。
最初は単に「そうなんだぁ～！」と思ったのですが・・・
よくよく考えてみたら由紀子と同じ年ではありませんか？！
コーチが同級生ですよ？！
びっくりです！！
由紀子が自閉症でなければ、大学生なんですよねぇ～～！！
久しぶりに「自閉症でなければ」の言葉が私の頭の中をよぎっていきました。



来ない！がいいなぁ～！

由紀子が通うさつき園では、毎年ボーリング大会が催されます。
その日は親が応援に行くことができます。ブログの写真を撮る絶好のチャンスです。私はとても楽しみにしていました。
ところが、その前日の夕飯の時に・・・・。
「明日、応援に行くからねぇ～！」
と言った私に向かって、由紀子が無表情に言ったのです。
「来ない！がいいなぁ～！！」
来ないがいい・・・つまり、応援には来るな！と、言っているのです。
私・・・拒否された？？・・・ガーン！！ショック！！
一瞬言葉が出ないほど驚きました。（笑）
　少し前から由紀子が、さつき園の生活の中に自分の社会を作り出していることは感じていました。由紀子はその社会に、私が干渉することを拒否しているのだと思いました。きっと、そこには家の中の甘えた由紀子とは違う顔があるのでしょう。（笑）
　由紀子は、自閉症や知的障害など、生きていきにくい障害を抱えていますが、内面はしっかり大人へと成長しているようです。
　最近の由紀子は、自己主張をしっかりするようになりました。相変わらず会話は苦手ですが、この日も苦手なりに、「来る！」「来ない！」の 2 択の言葉を使って自分の気持ちをしっかり伝えてきました。
　障害のある子を育てていると「わが子は障害ゆえにいつまでも甘えん坊で、何歳になっても親の羽の下のぬくもりを求めている！」とつい思ってしまうのですが・・・それは、親の願望なのかもしれません。
　障害があっても子どもは、ちゃんと大人になっていきます。
そして、その子なりの形で親離れをしたいと思っているのかもしれません。私は危うく、その成長の芽を摘んでしまうところでした。
その事を由紀子の一言で、しっかり気づかせてもらいました。
　ずっと、私たち親子の課題だった「母子分離」。
由紀子は私より一足先にこの課題をクリアしたようです。
でも、私ももうすぐクリアできそうな気がしています。だって、由紀子に拒否されたことを、淋しいと思う以上に、すごくうれしく感じているのですから！！　注）けっして強がりではありません！（笑）

由紀子のマイブームは子ども番組のスーパー戦隊のDVDを集めることです。それも初代のゴレンジャーとか、ガオレンジャーなどの古いもの限定です！

昔から何でもお気に入りの物が見つかると、全てを揃えなければ気が済まなくて、これまでにも本などいろいろな物をたくさんコレクションしています。

趣味があるのはいい事だと思っていたので、**「由紀子はコレクターで、まるでオタクだよね？！」**と、軽い笑い話にしていたのですが・・・、最近、障害の認定などの診断書の項目に**「収集癖の有無」**という言葉を見つけて・・・もしかして･･･これって障害のひとつなの？！

・・・あらら！(' ' ;)って感じです。(笑)

でも、その視点で見直してみれば、確かに！！

何かを集め始めると、いろいろな弊害があります。

① その事が気になって夜に眠れなくなる
② 思い通りに手に入らないと、パニックが起きる
③ 欲しい本やDVDの名前をずっと連呼する
④ いつまでもあきらめきれない
　etc・・・

これは、やっぱり障害ですね！（汗）

今は、由紀子がお小遣いで買える範囲の収集ですから、許してやりたいと思うのですが、将来、私たちの手を離れて生活を始めた時に、この収集癖がどうなるのか？それが、気になって仕方がありません。

趣味として続けさせていいのか、今のうちにやめさせるべきなのか・・・本当に悩ましい問題です。

母の子離れ

この数年、私はずっと小さなあせりを感じていました。

“今までずっと由紀子の笑顔を守る為だけにがんばってきたけれど、私の人生はそれだけで終わっていいのだろうか？”

よくある“中年のあせり”っていうやつでしょうか？！（笑）

そこで、ちょっと行動を起こしてみることにしました。由紀子が落ちついている今がチャンスだと、ある老人のデイサービスで月に数日のボランティア活動を始めることにしました。

以前からヘルパーの資格は持っていましたが仕事の経験ゼロです。情けないことにできることは利用者さんとのコミュニケーションぐらいでしたが、その経験は自分の人生を考える良いチャンスとなりました。そして、ボランティア先の施設からアルバイトとして働いてみないかと声をかけて頂いて、支援員として働かせてもらうことになりました。毎日が介護の勉強です。緊張の連続ですが、今までとは違う生活のハリを楽しんでいます。

そして、私の仕事をサポートする為に、主人が由紀子のお迎えや音楽療法の送りを引き受けてくれるようになりました。感謝です！！

生活の変化に対する由紀子の反応を心配したのですが、全く問題なし！　ちょっと肩透かしをくらったような感じです。(笑)

こうして、また由紀子の生活の中から
「母（私）でなければダメ！！」が
ひとつずつなくなって行きます。

由紀子の人生と私の人生・・・
今までは手をつないで生きてきましたが
これからは、すこし離れて見守りながら
生きていきたいと思っています。

不安のかたまりで、私が守ってやらなければ生きていけそうもなかった由紀子が来年は成人式です。

すっかりたくましくなりました！

でも、どんなに子離れをしても、
由紀子の笑顔はいつまでも
私の大事な！大事な！宝物です。

お知らせ

いつも「ゆきちゃん通信」をご愛読くださり、ありがとうございます。

由紀子の小学校入学と同時に発行したこの通信も今回で２９号となりました。由紀子を支援してくださるみなさんとのつながりを強くしたいと思って由紀子の小さな成長を、親ばかを自負しながら書き綴ってきました。

今では、由紀子もすっかり大人になってゆっくりした時間の中で安定した生活を送るようになりました。

以前のように、何かを乗り越えたとか、課題をクリアしたとか・・・そんな話題も少なくなって、この新聞を完成させるのも大変になってきました。

そろそろ、この通信も終わりの時期を迎えたのかもしれません。

そこで、次回の通信を最終号とすることにしました。

来年は由紀子も２０歳です。

次号は今までの思いをいっぱい込めた最大級の親ばか通信に仕上げたいと思っています。ご期待ください。

富美子